

個性伸ばし選ばれる会社に

トウヨーネジが60周年で次の成長へ

新商材の販売拡大を

(株)トウヨーネジ(埼玉県北足立郡伊奈町、内田佳菜子社長)は6月1日に創立60周年を迎えた。5月23日にはパレスホテル大宮で社員向けの創立60周年記念パーティを開催し、節目を祝うとともに、次の成長ステージに向けた方向性を共有した。

会場では、グループ会社(株)シマキウの島田隆昭社長(トウヨーネジ会長)、島田大希専務(同社外取締役)、内田社長がそれぞれあいさつし、社員の日頃の努力をねぎらった。また、内田社長が自ら制作した全社員参加の記念動画を上映。社員一人ひとりがメッセージをつなぐ内容となっており、節目にふさわしい一体感を演出した。

内田社長は「19歳で入社して27年になる。未熟な部分もあるが、社員に

支えられてきた。仕事に誇りを持ち、一緒に成長

しながら「楽しい会社をつくっていききたい」と語り、社員とともに歩む経営姿勢を示した。

同社は2013年に産業資材商社の(株)シマキウ(新潟県)と資本提携



内田佳菜子社長



倉庫のAMRにキャラクター設定をした

し、グループの一員となった。2016年には本社を上尾市から現在の伊奈町へ移転し、新社屋を建設。グループ方針のもとで人材の入れ替わりなど大きな組織改革を進めてきた。当時入社した社員も10年目を迎え、現在では中核人材として会社を支える存在へと成長している。

今後は、ねじ商社として培ってきた基盤に加え、シマキウグループが展開する産業用高圧ガスや機械工具を成長分野と位置付ける。機械工具はねじ・高圧ガス販売との相乗効果が生まれ始めており、さらなる拡大を進める方針だ。一方で、ねじと高圧ガスはいずれも技術営業としての専門知識が求められる商材であることから、両商材の知識を持つ営業人材の育成を課題に掲げる。

内田社長が次の成長として目指すのは、「コミュニケーション」が活発で、



創立60周年記念パーティで
(前列中央から右に島田会長、内田社長、島田取締役)

AIにない温度感を商社に

顧客や仕入先から「選ばれる会社」となることだ。「多くの選択肢がある中で、会社を選んでもらえる理由はある」とし、商社の付加価値は人間力にあると強調する。

インターネット通販は商品調達における「自分で選ぶこと」を容易にし、対話力や提案力を重視する方針を掲げた。

その実践として、「楽しい会社づくり」にも力を注ぐ。自社倉庫ではピッキング作業の省力化を目的に自律走行搬送ロボット(AMR)を2024年より導入しており、見学者も多い。今後は社員がロボットに名前やキャラクター設定を考えるなど、遊び心を取り入れながら会社の個性と現場の主体性を高める考えだ。

朝礼では社員主体による心理テストやクイズを取り入れるほか、自分と相手の双方を尊重しながら率直に意見を伝える「アサーティブコミュニケーション」の考え方も導入。社員同士が自由に意見を交わせる風土づくりを進めている。

創立60周年を機に、専門商社としての機能強化と人材育成を両輪に据え、「人間力」を競争力とする企業づくりを加速させる考えだ。